

## メッセージアウトライン

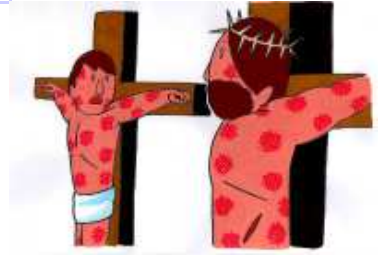
日付	2014年4月20日
単元	イースター
テーマ	十字架
タイトル	十字架につけられたイエス様
テキスト	ルカ23:26-49
参照箇所	マタイ27:32-56、マルコ15:21-41、ヨハネ19:17-30
暗唱聖句	ルカ23:34

<b>導入</b>	この前のお話しは、オリーブ山でイエス様が逮捕されたということを学びました。今日は、イエス様が裁判にかけられて、罪がないのに十字架につけられたお話しです。
-----------	--

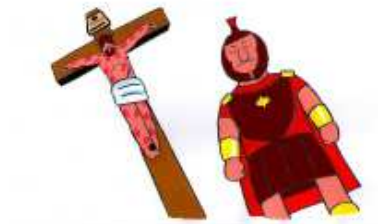
<b>I</b>	<b>イエス様は十字架につけられました</b>
A.	イエス様はゴルゴダの丘で十字架につけられました
B.	イエス様は二人の犯罪人と一緒に十字架につけられました
C.	



<b>II</b>	<b>イエス様は十字架の上で祈られました</b>
A.	イエス様は「彼らを赦して下さい」と祈りました
B.	犯罪人の一人が「自分のことを思い出して下さい」とイエス様に言いました
C.	イエス様は「あなたは私と一緒に天国にいる」と約束して下さいました



<b>III</b>	<b>イエス様は十字架の上で息を引き取られました</b>
A.	昼の12時頃なのに暗くなりました
B.	イエス様は最後のお言葉を叫ばれました
C.	ローマの隊長は十字架のイエス様をみて神様を賛美しました



<b>結論</b>	<b>イエス様は私たちの罪の身代わりとして十字架につけられました</b>
-----------	--------------------------------------

<b>適用</b>	イエス様が十字架にかかって下さったのは、私たちが罪から救うためでした。ですから、イエス様のことを「救い主」と言うのです。教会に十字架があるのも、それを見て私たちが神様に感謝するためです。みなさんは、イエス様を自分の救い主として信じますか。神様に赦していただきたいことがあったら、いまお祈りしましょう。神様は、どんな人の罪も赦して、天国に行く約束を与えてくださいます。
-----------	---



<b>備考</b>	
-----------	--